

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5年

11月25日(火)6時間目

国語 「弱いロボットだからできること (3/6)」

本時のねらい

- ◎筆者の主張を捉えることを通して、文章の構成を理解する。(思考力・判断力・表現力)
- 資料を読むことを通して、考えを広める。(主体的に学習に取り組む態度)

本時のこだわり

○文章を焦点化しながら構成を捉えます。資料の提示のタイミングを最後にもってくることで、児童の「え!？」を引き出します。

段階	学習活動	指導(○) 評価(☆)
導入	1. センテンスカードを見て、内容を振り返る。	○前時の作成したセンテンスカードを活用し、視覚的に内容を振り返らせる。【視覚化】
   	展開1 2. 筆者の主張を考える。	筆者の主張を確かめ、文章の構成を捉えよう。 ○既習事項や、言葉への着目を生かしながら、1段落と11段落に焦点化し、主張を読み取りやすくする。【焦点化】
	3. 結論と序論の切れ目を考える。	○「現在」、「これからの」といった言葉に着目させることで、話が切り替わっていることに気付かせる。
	展開2 4. 本論の構成を考え、ミニタイトルを付ける。	○既習事項を振り返り、内容や言葉で本論を分けるという視点を与える。 ○個人→ペア・トリオ→全体の流れで共有させる。【共有化】 ○手が止まってしまう児童には、別の段落でも使われている言葉に着目させる言葉掛けを机間指導の中で行う。 ○ペアやトリオで話し合う時間を取り入れることで、発言しやすい雰囲気を作成する。 ○読む範囲を焦点化することで、読み取りが苦手な児童も取り組みやすくさせる。【焦点化】 ☆筆者の主張について理解できている。(観察・発言)
	5. 筆者の主張とそれを裏付ける文章の構成を確かめるとともに、資料から別の視点の考えがあることを知る。	○筆者は弱いロボットがもつ可能性を説いているのに対し、資料の筆者は高性能なロボットがもつ可能性について説いていることに着目させ、次時の活動につなげる。【視覚化】 ☆資料を通して考えを広めている。(観察・発言)
まとめ		

